

// 個の尊重 // で雇用の質を向上

特例子会社・リクルートオフィスサポートの取組み

リクルートグループ18社の特例子会社・リクルートオフィスサポート（東京都中央区）は、1990年にリクルートプラスとして誕生。当時は作業系の特例子会社が多かった中で、事務作業にこだわり続けてきた。プラスは、ラテン語で「進化する、発展し続ける」という意味をもつ。06年には現在の社名に変更。個を尊重し、本人が実現したいこと（Will）をもとに、従業員一人ひとりの育成計画を作成。会社が成長をバックアップすることで雇用の質を高めている。頸髄損傷により、自身も車いすで勤務する経営企画部・広報グループの菅原悟グループマネジャーに話を聞いた。

親会社の課題解決で職域拡大

同社の25年6月時点の従業員数は611人。うち障害者は528人で、内訳は身体361人、精神153人、知的14人となっている。連結18社の常用雇用労働者数に対する雇用率は3・20%。社内報・かもめの印刷から始まった同社の業務は、グループ各社の総務・経理・人事や情報サイト運営のサポート業務へと広がりをみせる。

在宅雇用と職域拡大

在宅社員の導入は14年。有期雇用で労働時間は1日6時間、時給額は

ている。

事業課題の解決に舵

23年には、ビジョン・ミッション・バリューを策定。ミッションにある「オペレーションエクセレンス」には、品質と生産性を磨き、親会社のパートナーとして事業課題を一緒に解決し、ともに未来を描く姿を掲げる。策定の背景には、生成AIの台頭といった外部環境の変化がある。菅原さんは、品質や生産性に加え「親会社に入り込

ンフラに関する情報収集や、ICTの活用を推進するため、事例を共有する勉強会を開催している。また情報サイトの原稿の作成に生成AIを活用し、たたき台を作成。人間が修正することで、生産効率と品質を両立させている。

同時に、従業員の能力開発を後押しする施策として資格インセンティブ制度がある。直近では、AIの技術的な手法やビジネス活用のための基礎知識を習得するジェネラリスト検定（G検定）を新たな対象とした。ほかにもマイクログソフトオフィススペシャリスト（MOS）をはじめ、日商簿記、手話通訳士など計12の資格について、資格取得後に最大10万円を支給している。

人材開発や健康管理を支援

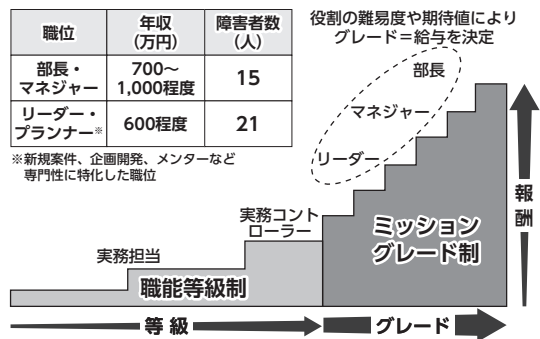
同社では、グループ各社の人材マネジメントポリシー「価値の源泉は人に基づく、個を尊重した人材開発を行う。」

個人の育成計画を作成

ポイントは対話とフィードバックにある。一人ひとりの個性を活かし、やりたいことを目標に結び付けるため、従業員は仕事を通じて実現したいこと（Will）、生かし

知識を習得するジェネラリスト検定（G検定）を新たな対象とした。ほかにもマイクログソフトオフィススペシャリスト（MOS）をはじめ、日商簿記、手話通訳士など計12の資格について、資格取得後に最大10万円を支給している。

図 正社員の等級制度のイメージ



る。職能等級制からミッショングレード制への任用は、従業員のWillでの意思表示や、人材開発委員会が決定した育成計画の進捗、査定会議の結果などを踏まえて最終的に部長会で決定する。

独立した相談部署を設置

同社では、人材開発と健康管理の支援にも力を入れる。キャリア形成を支援するため、キャリア開発部署を設置。キャリアアコンサルタント資格を保有する社員約10人が兼任で、Willやキャリアに関する従業員の相談対応や研修を実施している。また心身の健康相談ができる健康管理ルームには保健師が常駐。ソファに座り、お茶を飲みながら気軽に相談できるオープンスペースのほか、プライバシーを確保する個室も完備する。

特徴的なのは、キャリア開発部署と健康管理ルームともに人事などから独立した部署という点だ。菅原さんは「相談により異動や降格があってはならないので、安心して相談できる体制になっている」と力を込める。

株式会社リクルートオフィスサポート

- ▼本社：東京都中央区勝どき3・13・1 FOREFRONT TOWER II
- ▼代表：真島博代表取締役社長
- ▼設立：1990年2月14日
- ▼従業員数：611人（うち障害者528人）
- ▼事業：リクルートグループ各社へのサービスの提供
- ▼企業理念：私たちはあらゆる人が能力・意欲の発揮できる機会を創造し、成果を高めることにより豊かで人に優しい社会の実現を目指します。

経営企画部広報グループの菅原悟グループマネジャー



●事業所の人事・労務の取り組みなどを紹介します

25年3月時点で在宅社員数は172人に拡大。住宅分野から始まった審査業務も、美容や飲食、旅行の分野へと横展開し

